

籍を置いて、武道と出会いました。そして「禅」という言葉を知りました。私の学生時代は、勉強は授業時間だけでしたから、自由時間を利用して禅の本を読みあさりました。禅は日本の文化の多くに係わり、中国の道教、インドのヨーガ哲学に源流がありました。そしてヨーガ哲学の2つの大切な考え方を発見しました。

1. 心を鎮めて、内なる声を聞き、草木の芽生える音を聞く。
2. 一心に物事に熱中する。

考え方1は、「人も物も本来善であり、大きなつながりを持って調和している。耳を澄ましてみると、正しい判断が聞こえてくる。」ということです。

考え方2は、「考え方1に従って、こだわりをなくして、一心に物事に熱中することによって、最も自己の能力を発揮することができる。」ということです。

こんな事を考え、部活やアルバイト、読書、ボランティアと学生時代を過ごしたので、結局、大学の卒業はなぜか9月というごまけでした。これも反省です。

卒業後、生保に入社し、実社会でのスタートをした訳です。この先のはんせいは、又の機会と致します。

### ◎ 出席報告

会 員 数	67名	出 席 率	函 館 北 4月 5日	90.77%
出 席 席	39名		函 館 東 4月 4日	97.85%
欠 席 席	28名		函 館 3月 30日	89.29%
他クラブ出席	20名		函館五稜郭 3月 31日	100.00%
出席合計	59名		函館亀田 4月 3日	88.24%
除 外 者	2名			

次回・4月26日  
プログラム

「ロータリー財団フォーラム」

ロータリー財団米山委員会 南木 哲雄 委員長



# 函館北ロータリークラブ会報

ビル・ハントレー 国際ロータリー会長テーマ

## 友達になろう BE A FRIEND

富原 薫 ガバナー テーマ「地域にねざして世界と語ろう、  
濱 武 会長 テーマ「夢と愛と知恵そして少しの勇氣、



4月19日卓話 新谷 正氏

《第1534回例会》 第40号 4月26日(水)

### 本日のプログラム

「ロータリー財団フォーラム」

ロータリー財団米山委員会 南木 哲雄 委員長

★会 長 濱 武 ★幹 事 大野 章

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 ニチロビル3階 23-3870

4月19日の記録

- ◎司 会 演 武 会長      ◎斉 唱 我等の生業
- ◎ビクター 函館R.C.木村英夫君・元廣輝重君・高橋研二君・川端久雄君・井ヶ田高彦君・大口正治君、函館東R.C.沢田幸矣君・仁井健治君、函館五稜郭R.C.西村憲人君・越前達郎君・朝倉純一君、函館亀田R.C.松崎和夫君・帰山一弥君・小島悦郎君・加賀谷喜一君
- ◎ゲ ス ト NTT函館支店副支店長 新谷 正 氏

- ◎会長報告 演 武 会長
  - 堀部氏から転勤のご挨拶状が届きました。
  - 今週末は2510地区大会です。登録は19名です。

- ◎委員会報告
  - ・職業奉仕委員会 齊藤 紀一 会員  
健康診断の結果、やや数値の高い会員はご自愛下さい。

- ◎幹事報告 大野 章 幹事
  - 倶知安R.C.30周年式典案内 6月3日 詳細は幹事まで
  - 和歌山城南R.C.からの会報を回覧します。
  - 地区大会参加者へ札幌ナイトのご案内

- ◎親睦活動委員会 藤枝 時雄 委員
  - ニコニコBOX投入報告
  - 森 会員……BOXに協力
  - 佐々木会員…… ”
  - 大野 幹事……皆さんに良い事がありますように。
  - 鈴木 会員……欠席のおわび

- 藤野 会員……欠席のおわび
- 小竹 会員…… ”
- 中里 会員……BOXに協力
- 新 会員…… ”
- 佐藤(嶋)会員…… ”
- 青田 会員…… ”
- 藤枝 会員…… ”
- 石川 会員…… ”
- 小池 会員……ノースアイランダーズの制服をつくります。

- ◎卓話 「NTTの災害対策の現状と課題について」  
NTT函館支店副支店長 新谷 正 氏

1. はじめに  
 本日は未曾有の大災害をもたらした阪神大震災について、次の三点をお話させていただきます。

一点目は、過去の災害を教訓としてNTTはどう取り組んできたのか、二点目は、阪神大震災における通信設備の被害状況と通話の確保対策にNTTはどう取り組んだのか、そして最後に情報化社会における大規模災害に対して今後どういう視点でその対策に取り組もうとしているのかについて、その概況を述べさせていただきます。

2. 過去の災害のを教訓としたNTTのこれまでの取り組み状況  
 NTTは電電公社時代から災害対策にはことさら力を注いでまいりました。NTTの災害対策の出発点は昭和43年の十勝沖地震であります。

すさまじい震動によって青森の無線中継所の電源設備にずれが生じ、本土～北海道の通信が2時間にもわたって途絶し、その為北海道が壊滅状態などのデマも飛ぶほどだったということでもあります。電話回線がライフラインとして、ハッキリ認知された節目の災害でもありました。

当時の電電公社は、世間から指弾され、これを契機に「孤立防止」に全力を注ぐこととし、市外通話を運ぶ市外伝送路の分散化、重要回線の2ルート化・多ル

ート化を強力に推進する一方、万一特定の地域が孤立した場合を想定しての孤立防止用無線機を開発し全国の電話局等に配備しております。

次が昭和50年の旭川東光電話局で発生した火災で、電話局の防災体制にメスが入られ、非常時の際、暫定的に既存の電話局に代わる大容量可搬型電話局装置、更には、それに給電する大容量可搬型電源装置、いわゆる動く電話局が開発され、全国の要所に設置するようになりました。

次いで、昭和53年の宮城県沖地震で、この災害では交換設備収容フレームの倒壊等によって仙台市を中心に約4千加入が一週間不通となっております。

これを機に、車載型の衛星無線車が開発され全国主要拠点に配置されております。

なお、NTTでは、社内的な体制の構築としまして昭和56年から全国の各機関に常設組織として「災害対策室」を設置し企業としての危機管理体制を築き上げております。

### 3. 阪神大震災における通信設備の被害状況と通信の確保対策

地震発生時には、交換機の機器事態は無事でありましたが、商用電源の停止とバックアップ電源の損壊等により交換機がダウンし、神戸地域144万加入のうち約28万5千加入(約20%)に支障を与えたことから、道路の寸断・大渋滞という大変困難を極めるなか、大阪、金沢、広島等から移動電源車11台を出动させるなどし、翌18日午前中までに回復させております。

一方、全国から安否を気づかう通話が神戸地域へ殺到しまして、地震当日の17日には通常の50倍、翌日は20倍にも達し、ちなみに北海道南西沖地震の時ですえ、30倍ですからそのすごさをお分かり頂けると思いますが、電話がかかりにくい、かからない状態となったことから、緊急通話の確保や被災地からの発信を優先するために、神戸方面への着信通話を大幅に規制するとともに、この通話増対策として兵庫県の出入りの回線を5千回線増設する対策や、全国各地に配備してある車載型の衛星無線車とポータブル衛星通信地球局を急送し、被災地内820カ所に特設公衆電話約2,800台を設置し罹災者の通話の確保に努めております。

また、家屋の焼失やビルの倒壊等により19万3千回線の加入系通信ケーブルと3.170回線の専用線が被災したことから、防災救助機関を最優先にしつつ復

旧を急いだ結果、家屋やビルの倒壊による障害を除き、通信設備は1月末までに応急復旧が完了するなど他のライフラインに比べて早い立ち上がりとなっていますが、初期の情報活動に大きな影響を与えたことはいなめません。

### 4. NTTの支援施策

NTTでは今回の阪神大震災に際し、被災地や罹災者の方々のお役に少しでも立とうとNTTグループの総力を挙げてお手元に配付の資料の通り色々な支援策を実施しております。

- ①兵庫県対策本部及び六市の対策室間を結ぶテレビ会議システムの提供、②NTTフリーダイヤルによる死亡者リスト照会サービスの実施、③電話機3万台の寄贈と仮設住宅への設置、④NTT独身寮・厚生施設の空室の提供、⑤ダイヤルQ<sup>2</sup>による義援金募金番組の回収代行手数料の無料化、⑥特設公衆電話からの罹災電報の無料化、⑦NTTフリーダイヤルによる「いのちの電話」の無料化、⑧地震関連情報アクセス先案内サービスの実施、⑨インターネットへの罹災情報等の掲示、⑩NTTドコモからの携帯電話提供、⑪基本料金の減免等々

### 5. 大震災を教訓とした情報化社会における大規模災害対策

今回の災害が震度7という未曾有の大地震であったということに加え、本格的な情報化社会を迎えての初めての大都市被災だっただけに、NTTではこの幾多の「教訓と体験」を真摯に受け止め、情報化社会に相応した新しい災害対策を策定すべく、副社長を委員長とする「大都市激甚災害対策委員会」を2月に設置したところであり、委員会の下には、専門領域毎に分科会を設置するなど全社を上げて本年7月を目途にハード・ソフト両面から従来の施策にメスを入れて具体的な強化施策を打ち出すことしております。



加入者系通信ケーブルの復旧には、ケーブルの経路をまず確認しなければならない。

その検討のポイントは、①電気通信設備の耐震対策、②被災地の緊急通信の確保対策、③大規模災害を想定した危機管理・復旧体制の整備、④地震発生後の情報混乱期への対応であります。

6. おわりに

今回の災害において、地下に埋設した電話線の地中化が震災に強いことが検証されたことから、今後、ケーブルの地中化率を高めるとともに通信途絶を防ぐため、複数の回線のループ化を推進するとともにマルチメディア時代を展望したアクセス網の光ファイバ化を積極的に推進することとしております。NTTは今後とも信頼性の高い、且つ、災害に強い通信ネットワークの構築を目指すと共にお客様サービスの一層の向上に努めてまいりたいと思っておりますので、引き続きご愛顧の程宜しくお願い申し上げます。

◎ 出席報告

会 員 数	68名	出 席 率	函 館 北 4月12日	90.91%
出 席	45名		函 館 東 4月11日	95.65%
欠 席	23名		函 館 4月 6日	89.17%
他クラブ出席	15名		函館五稜郭 4月 7日	100.00%
出席合計	60名		函館亀田 4月10日	86.27%
除 外 者	2名			

次回・5月3日

祝日休会

5月10日

“子供の目 大人の目”

太陽の子園長 豊田 千春氏

プログラム



# 函館北ロータリークラブ会報

ビル・ハントレー 国際ロータリー会長テーマ

## 友達になろう BE A FRIEND

富原 薫 ガバナー テーマ “地域にねぎして世界と語ろう、  
濱 武 会長 テーマ “夢と愛と知恵そして少しの勇氣、



4月26日 新入会員(渡辺 諭君)紹介

### 《第1535回例会》 第41号 5月10日(水)

#### 本日のプログラム

### “子供の目、大人の目”

太陽の子園長 豊田 千春氏

★会 長 濱 武 ★幹 事 大野 章

例会場：函館国際ホテル 〒040 函館市大手町5-10 TEL 23-5151  
例会日：毎週水曜日 12:30~13:30 事務所：函館市大手町5-10 二子ロビル3階 23-3870